

★チョウの飼育★

■野外でチョウを捕まえる

チョウを育てるには、まず、メスのチョウを捕まえる必要があります。野外で採れたメスのチョウのほとんどは交尾を終えていて、お腹に卵を持っています。

■幼虫が食べる植物に産卵

チョウは種類によって食べる植物が違います。モンシロチョウはキャベツやコマツナなどのアブラナ科植物ですし、アゲハチョウの仲間はサンショウやユズなどのミカン科植物です。これら幼虫の食べる植物を鉢植えまたはビンに水さしして、メスのチョウといっしょに網カゴに入れ、上からライトを当てます。そうするとチョウは植物に卵を産んでくれます。

■幼虫を育てる

産卵した植物でふ化した幼虫が少し大きくなったら、幼虫をカップなどの容器に移しましょう。このとき、幼虫は素手でさわらず、筆など柔らかく、清潔なもので移動させます。

昆虫も人と同じように病気になりますから、一つの容器に1～数匹ずつ分けて飼育します。病気の幼虫は口やお尻から液体を出すので、すぐに処分してください。

フンの掃除は毎日行い容器内が湿らないように管理し新鮮な葉を毎日与えることで、病気を防ぎ元気な幼虫を育てることができます。

■サナギ、そしてチョウの羽化

サナギになる直前の幼虫は、体の色が薄くなり、柔らかいフンをします。このような幼虫はさわらず、そっとしておいてください。しばらくすると、脱皮し、サナギになります。サナギは、支えている糸をそとはがして、割り箸などに木工用ボンドや両面テープなどで固定したほうが良いでしょう。

羽化したチョウはハネが乾いて飛べるようになるまでに半日くらいかかるので、そっとしておきましょう。



リシヤール法で採卵



幼虫飼育のようす



割りバシに固定したサナギ